

意欲的な古典の学習をめざして

永楽 仁 八

一 はじめに

最近の生徒たちに接していて、彼等はまさに「経済大国日本」の落とし子だと感じる。あふれる物や氾濫する情報にどっぷり浸かった生活に慣れ切ってしまったている。彼らの関心はバイク、自動車、ファッション、音楽などに限られている。さらに言えばそれらを消費することに限られている。そして、その情報を感覚的に提供してくれる、テレビ・ビデオ・漫画・CD・カタログ雑誌などのメディアア崇拜によって、彼らの価値観は形成される。ものごとを論理的に考える態度は、めんどろくさい（大分県南部の方言で「しまましい」と拒否するようになる）。

このような生徒たちの学習意欲を喚起するために、彼らの興味・関心と古典の世界との接点を探り、積極的に授業の中に取り入れていこうと考えた。

しかし、それらを不用意に、口語訳の代用や授業の「いろいろどり」として用いるだけでは、学習者の関心を引くこと

はできても、意欲を引き出すことはできない。その後には退屈な「普通の授業」が待っているなら、一瞬なりとも期待しただけに、学習者の落胆は大きいだろう。そうではなく、それらが「生徒の考えさせる材料」となるように、必ず、何らかの意図をもって用いなければならないと考えた。

「こんな（漫画や歌謡曲など）、古典とどげな関係があるんか」と、彼らを驚かせつつ、その漫画や歌謡曲を「考える材料」として読んでいくと、古典作品とのつながり（多少のこじつけがあるにしても）見えてきたり、古典作品の内容を理解していけるような用い方を心がけたいと思っている。

今回の報告は、一九九〇（平成二）年度、二年生就職コースの国語Ⅱ・古典分野（二単位）と、一九九一（平成三）年度、三年生就職コースの古典（三単位）での実践である。

二 学習者の実態と授業の方法

この学年の生徒の学習指導上の問題点は、学習意欲の格差であった。生徒数は一クラス三〇名と少ないのだが、ある程度真面目に取り組む数名と、ほとんど学習意欲がなく時には妨害的行動をする数名と、その場の雰囲気によってどちらにも流れる中間派に色分けされる。授業をある程度成立させていくには、大半の中間派の意識を授業へと向け、それによってクラス全体の雰囲気や学習活動の中に導いていくしかなかった。そのために学習者の興味・関心と学習内容を、親しみやすい形で結びつけて行こうと考えた。

実際には、漫画や歌謡曲などを積極的に利用し、クイズ形式で学習内容へと導くような学習プリントを形成し、それにしたがって作品を読み進めるという方法を取った。

なお、二年間の授業の流れは表1・2のとおりである。

三 具体的な実践例

1 漫画を用いた実践例

(1) 四コマ漫画を万葉仮名に『土佐日記』の導入
『土佐日記』が国語IIの教科書の古典分野の最初の教材だった。この作品で、学習者たちと新鮮な出会いをするには、知恵をしぼったのが、資料①に示した学習プリントである。

表1

平成二年次、三年生、古典分野①『土佐日記』の導入

学年	単元	教科書	教材
3年次	1	『土佐日記』(一) 香川	①『土佐日記』(一) 香川
2年次	1	『伊勢物語』(一) 西川	②『伊勢物語』(一) 西川
2年次	2	『源氏物語』(一) 西川	③『源氏物語』(一) 西川
2年次	3	『枕草子』(一) 西川	④『枕草子』(一) 西川
2年次	4	『源氏物語』(二) 西川	⑤『源氏物語』(二) 西川
2年次	5	『源氏物語』(三) 西川	⑥『源氏物語』(三) 西川
2年次	6	『源氏物語』(四) 西川	⑦『源氏物語』(四) 西川
2年次	7	『源氏物語』(五) 西川	⑧『源氏物語』(五) 西川
2年次	8	『源氏物語』(六) 西川	⑨『源氏物語』(六) 西川
2年次	9	『源氏物語』(七) 西川	⑩『源氏物語』(七) 西川
2年次	10	『源氏物語』(八) 西川	⑪『源氏物語』(八) 西川
2年次	11	『源氏物語』(九) 西川	⑫『源氏物語』(九) 西川
2年次	12	『源氏物語』(十) 西川	⑬『源氏物語』(十) 西川
2年次	13	『源氏物語』(十一) 西川	⑭『源氏物語』(十一) 西川
2年次	14	『源氏物語』(十二) 西川	⑮『源氏物語』(十二) 西川
2年次	15	『源氏物語』(十三) 西川	⑯『源氏物語』(十三) 西川
2年次	16	『源氏物語』(十四) 西川	⑰『源氏物語』(十四) 西川
2年次	17	『源氏物語』(十五) 西川	⑱『源氏物語』(十五) 西川
2年次	18	『源氏物語』(十六) 西川	⑲『源氏物語』(十六) 西川
2年次	19	『源氏物語』(十七) 西川	⑳『源氏物語』(十七) 西川
2年次	20	『源氏物語』(十八) 西川	㉑『源氏物語』(十八) 西川
2年次	21	『源氏物語』(十九) 西川	㉒『源氏物語』(十九) 西川
2年次	22	『源氏物語』(二十) 西川	㉓『源氏物語』(二十) 西川
2年次	23	『源氏物語』(二十一) 西川	㉔『源氏物語』(二十一) 西川
2年次	24	『源氏物語』(二十二) 西川	㉕『源氏物語』(二十二) 西川
2年次	25	『源氏物語』(二十三) 西川	㉖『源氏物語』(二十三) 西川
2年次	26	『源氏物語』(二十四) 西川	㉗『源氏物語』(二十四) 西川
2年次	27	『源氏物語』(二十五) 西川	㉘『源氏物語』(二十五) 西川
2年次	28	『源氏物語』(二十六) 西川	㉙『源氏物語』(二十六) 西川
2年次	29	『源氏物語』(二十七) 西川	㉚『源氏物語』(二十七) 西川
2年次	30	『源氏物語』(二十八) 西川	㉛『源氏物語』(二十八) 西川
2年次	31	『源氏物語』(二十九) 西川	㉜『源氏物語』(二十九) 西川
2年次	32	『源氏物語』(三十) 西川	㉝『源氏物語』(三十) 西川

①『土佐日記』(一) 香川
②『伊勢物語』(一) 西川
③『源氏物語』(一) 西川
④『枕草子』(一) 西川
⑤『源氏物語』(二) 西川
⑥『源氏物語』(三) 西川
⑦『源氏物語』(四) 西川
⑧『源氏物語』(五) 西川
⑨『源氏物語』(六) 西川
⑩『源氏物語』(七) 西川
⑪『源氏物語』(八) 西川
⑫『源氏物語』(九) 西川
⑬『源氏物語』(十) 西川
⑭『源氏物語』(十一) 西川
⑮『源氏物語』(十二) 西川
⑯『源氏物語』(十三) 西川
⑰『源氏物語』(十四) 西川
⑱『源氏物語』(十五) 西川
⑲『源氏物語』(十六) 西川
⑳『源氏物語』(十七) 西川
㉑『源氏物語』(十八) 西川
㉒『源氏物語』(十九) 西川
㉓『源氏物語』(二十) 西川
㉔『源氏物語』(二十一) 西川
㉕『源氏物語』(二十二) 西川
㉖『源氏物語』(二十三) 西川
㉗『源氏物語』(二十四) 西川
㉘『源氏物語』(二十五) 西川
㉙『源氏物語』(二十六) 西川
㉚『源氏物語』(二十七) 西川
㉛『源氏物語』(二十八) 西川
㉜『源氏物語』(二十九) 西川
㉝『源氏物語』(三十) 西川

表2

平成二年次、三年生、古典分野②『土佐日記』の導入

学年	単元	教科書	教材
3年次	1	『土佐日記』(一) 香川	①『土佐日記』(一) 香川
3年次	2	『土佐日記』(二) 香川	②『土佐日記』(二) 香川
3年次	3	『土佐日記』(三) 香川	③『土佐日記』(三) 香川
3年次	4	『土佐日記』(四) 香川	④『土佐日記』(四) 香川
3年次	5	『土佐日記』(五) 香川	⑤『土佐日記』(五) 香川
3年次	6	『土佐日記』(六) 香川	⑥『土佐日記』(六) 香川
3年次	7	『土佐日記』(七) 香川	⑦『土佐日記』(七) 香川
3年次	8	『土佐日記』(八) 香川	⑧『土佐日記』(八) 香川
3年次	9	『土佐日記』(九) 香川	⑨『土佐日記』(九) 香川
3年次	10	『土佐日記』(十) 香川	⑩『土佐日記』(十) 香川
3年次	11	『土佐日記』(十一) 香川	⑪『土佐日記』(十一) 香川
3年次	12	『土佐日記』(十二) 香川	⑫『土佐日記』(十二) 香川
3年次	13	『土佐日記』(十三) 香川	⑬『土佐日記』(十三) 香川
3年次	14	『土佐日記』(十四) 香川	⑭『土佐日記』(十四) 香川
3年次	15	『土佐日記』(十五) 香川	⑮『土佐日記』(十五) 香川
3年次	16	『土佐日記』(十六) 香川	⑯『土佐日記』(十六) 香川
3年次	17	『土佐日記』(十七) 香川	⑰『土佐日記』(十七) 香川
3年次	18	『土佐日記』(十八) 香川	⑱『土佐日記』(十八) 香川
3年次	19	『土佐日記』(十九) 香川	⑲『土佐日記』(十九) 香川
3年次	20	『土佐日記』(二十) 香川	⑳『土佐日記』(二十) 香川
3年次	21	『土佐日記』(二十一) 香川	㉑『土佐日記』(二十一) 香川
3年次	22	『土佐日記』(二十二) 香川	㉒『土佐日記』(二十二) 香川
3年次	23	『土佐日記』(二十三) 香川	㉓『土佐日記』(二十三) 香川
3年次	24	『土佐日記』(二十四) 香川	㉔『土佐日記』(二十四) 香川
3年次	25	『土佐日記』(二十五) 香川	㉕『土佐日記』(二十五) 香川
3年次	26	『土佐日記』(二十六) 香川	㉖『土佐日記』(二十六) 香川
3年次	27	『土佐日記』(二十七) 香川	㉗『土佐日記』(二十七) 香川
3年次	28	『土佐日記』(二十八) 香川	㉘『土佐日記』(二十八) 香川
3年次	29	『土佐日記』(二十九) 香川	㉙『土佐日記』(二十九) 香川
3年次	30	『土佐日記』(三十) 香川	㉚『土佐日記』(三十) 香川

①『土佐日記』(一) 香川
②『土佐日記』(二) 香川
③『土佐日記』(三) 香川
④『土佐日記』(四) 香川
⑤『土佐日記』(五) 香川
⑥『土佐日記』(六) 香川
⑦『土佐日記』(七) 香川
⑧『土佐日記』(八) 香川
⑨『土佐日記』(九) 香川
⑩『土佐日記』(十) 香川
⑪『土佐日記』(十一) 香川
⑫『土佐日記』(十二) 香川
⑬『土佐日記』(十三) 香川
⑭『土佐日記』(十四) 香川
⑮『土佐日記』(十五) 香川
⑯『土佐日記』(十六) 香川
⑰『土佐日記』(十七) 香川
⑱『土佐日記』(十八) 香川
⑲『土佐日記』(十九) 香川
⑳『土佐日記』(二十) 香川
㉑『土佐日記』(二十一) 香川
㉒『土佐日記』(二十二) 香川
㉓『土佐日記』(二十三) 香川
㉔『土佐日記』(二十四) 香川
㉕『土佐日記』(二十五) 香川
㉖『土佐日記』(二十六) 香川
㉗『土佐日記』(二十七) 香川
㉘『土佐日記』(二十八) 香川
㉙『土佐日記』(二十九) 香川
㉚『土佐日記』(三十) 香川

資料①

国語学習プリント「土佐日記（その1）」

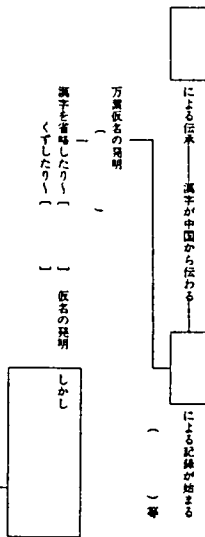
2年（一組）（番）

M「もし、この世の中に平仮名や片仮名がなかったら、どうなるだろうか。次の漫画のせりふを読みます。」

- ① 仮字以元 假字之身久毛 世す……
- ② 假字以元 大太之以 世以加川里 之天以留乃亡……
- ③ 止字之天 己元来以 以加吾来才加情改
- ④ 加安元！
- ⑤ 安来太 彼无之元 不安元 天す博！



問二 仮名が置かれるようになるまでの歴史をまとめます。



読出								
すた								
ア								

貴之が女性に仮託して、平仮名による日記『土佐日記』を書いたことが、女性の文字「仮名」が普及していく大きなきっかけとなったことについて教え、また、日常生活で私たちが受けている仮名文字の恩恵について考えさせたかった。

そのために、四コマ漫画の台詞を、すべて万葉仮名風に漢字で表記して読む課題を作成した。四苦八苦して読んだ後、日本語の表記の歴史を簡単にまとめ、貴之の功績について考え、『土佐日記』への導入とした。

(2) 漫画の間違いがしく本文を注意深く読む
NHKテレビの「漫画で親しむ古典」シリーズが放映された前後から、古典を漫画に書き改めた作品が多く出版されるようになった。原作にかなり忠実に描かれているものが増えてきたので、あらずじをつかんだり、口語訳をさせる際の参考に用いたりすることが多い。

しかし、それらの漫画を原文と比較してみると、筆者による省略、脚色や単純ミス、読み違いなどが見られることがある。これを利用して、作品をひとつと読み終えた後の設問として、「間違いがしくクイズ」の形で学習者に提示した。ささいな部分も多いが、違いの数をあらかじめ指示しておくことで、クイズ感覚で、再度注意深く読み直すことができる。資料②

問三 次の誤字が古典風に読めますか？

土庄（ ） 脚走（ ） 皮の時（ ） 渠（ ）

四年五年（ ） 羅（ ） 二十日（ ） 渠（ ）

新編 伊勢物語 (全五巻) 第六段 芥川 龍之介 著 芥川龍之介 著 芥川龍之介 著



2 歌謡曲を用いた実践例

(1) 歌詞を読み取る〜『伊勢物語・第六段』資料③

『伊勢物語・第六段(芥川)』は、授業をしていて楽しい教材の一つである。この作品は、学習者の「読もうという意欲」を引き出すことが成功すれば、あとは、恋を貫くために社会に抵抗する主人公の心情に共感しながら、変化に富んだストーリー展開にそって読み進めていくことができる。

導入において、「女のえ得まじかりける」を、「からうじて盗み」出した主人公の心情を身近なものに感じさせようと考えた。男女交際を両親にとがめられるような経験が、生徒たちの日常生活の中にも必ずあるだろうと思われるからである。しかし、このような話題は、かえって高校生たちにとっては照れくさいものであるようだ。そこで、「若い恋人どうしが恋に反対され、二人で故郷を飛び出そうとして失敗する」という内容の歌謡曲を用いて、歌詞から登場人物の心情を読み取る作業から、伊勢物語へとつないでいった。

3 広告文を用いた実践例

ウーロン茶のラベルを読ませる〜漢文入門 資料④

漢文入門の際に、漢字嫌いの生徒たちに拒絶反応を起こさせたくない。教科書のような故事・名言ではなく、彼らにとって身近な題材を扱いたいと考え、市販の缶入りウー

て行く多くの生徒たちが、故郷に愛着と誇りが持てるようにという願いもあり、単元「蒲江八景」を構成した。

四 生徒の感想

以上のように、まさに「手を変え品を変え」という二年間だった。生徒たちを教室に入れ、席に着かせ、プリントに書き込みをさせるだけで精一杯だった。厳密な意味で、授業が成立していたとは言い難いと思う。

卒業していった生徒たちに、二年間の古典の授業の感想を書いてもらい、反省と課題を考察した。

(1) おもしろく楽しい授業の雰囲気作りができた。
学習者の意欲を引き出すには、おもしろさや楽しさが大きな要因になると考えられる。漫画や歌謡曲などを利用した学習プリントは、この雰囲気を作り出すことに有効であった。

しかし、この雰囲気を一時間の授業が終了するまで持続させるためには、教材のみの工夫では不十分で、発問・指示・説明などにおける技術の改善が重要となる。また「おもしろさ」「楽しさ」の質が、授業の展開に沿って、感覚的なものから知的なものへと高めることができているのかについても、再検討する必要がある。

(2) わかりやすい授業ができた。

「わかりやすかった」という生徒の評価は、

① 学習プリントに漫画を取り入れたために、作品への抵抗感がなくなったこと。

② 学習プリントが整理されていたために、答えを書き込みやすかったこと。

③ 学習プリントによって復習がしやすかったこと。

④ 授業中の解説がゆつくりとくりかえされていたこと。
⑤ 板書の文字が丁寧であったこと。

などの理由に分類できる。これらをふまえて、さらに「わかりやすい授業」の要素を追究したい。

(4) 授業により意味での緊張感を与えられなかった。

授業を進めながら、常に感じていたことを、生徒からも見事に指摘されている。楽しい授業・わかりやすい授業と感じている生徒よりも、成績もよく意欲的な生徒たちの意見である。

「楽だったわりには、ねていたのが多かった」

「私達の授業態度が悪く先生一人で授業してみたい」

「私達は、ただプリントに写して提出するだけの日々」
学習者の意欲を引き出すことを目標にしながら、実際には、意欲的な生徒の意欲を削いでしまっている。この原因については、慎重に分析する必要があるが、現在、気付け点をあげたい。

① 「学習の個別化」が不十分であった。

理解の遅い生徒、学習態度のよくない生徒が目立つクラスでは、私達の目は自然とそちらに向いてしまう。彼等を

授業に引き込むことに腐心するあまり、意欲的な生徒たちへの配慮が欠けてしまう。学習プリントは学習を個別化するためには有効な手段である。意欲的な生徒を対象とした発展課題を作成し、授業に取り入れていく工夫をしなければならぬ。

② 楽しさの質を高めることが不十分だった。

(1)で反省したように「楽しさ」の質を、授業の展開に沿って高める必要がある。特に、この二年間の実践では、学習者の意見を引き出す機会をほとんど設けられなかった。作品に対する感想・意見を書く中で、考え方を深める楽しさ・創作を行う楽しさなどを味わわせる活動を取り入れる必要がある。

③ 授業の方法・形態が単調であった。

授業が作品の「読み取り」に終始したこと、学習プリントを用いた作業と一斉授業の組み合わせというワンパターンの授業だったことも、学習者を退屈させる原因だったと思われる。必要に応じて、グループ学習、群読、研究発表など、異なった型の活動を取り入れる努力をしたい。

(大分県立蒲江高等学校教諭)